

第3代第6即応機動連隊長兼ねて第40代美幌駐屯地司令 白鷹聖也1佐が着任



▲着任した白鷹1佐

美幌駐屯地は、12月16日、第3代第6即応機動連隊長兼ねて第40代美幌駐屯地司令、白鷹聖也(しらたか・せいや)1等陸佐の着任行事を執り行った。

美幌駐屯地に初登庁した白鷹連隊長は、曇りない朝の冷気の中で駐屯地慰霊碑において、駐屯地殉職隊員12柱の御霊に対し、

し献花を行い、追悼の意を静かに表した。続いて、第5旅団長による着任紹介行事が駐屯地体育館において行われ、引き続き着任式を挙げた。

式典の締めくくりとして、晴天の澄み渡る青空の下、本部庁舎内の駐屯地司令室バルコニーを視閲台として、観閲部隊指揮官副連隊長・弓削2佐



▲慰霊碑参拝



▲観閲行進

中津1佐は12月15日、1年9カ月に渡る美幌駐屯地司令としての任を全うし、北部方面総監部防衛部長として札幌駐屯地へと旅立った。



▲最後の訓示を述べる



▲看板とのほりに囲まれ見送られる

第4次基礎となる部隊訓練検閲 本部管理中隊補給小隊及び 火力支援中隊が受閲

第6即応機動連隊

第6即応機動連隊(連隊長・中津健士1佐)は12月16日異動。は12月6日から8日までの間、然別演習場において、第4次基礎となる部隊(火力支援中隊、本部管理中隊補給小隊、訓練検閲を実施した。

本訓練検閲は、火力支援中隊(中隊長・林和志1尉)に対して、「火力戦闘部隊として基幹部隊が戦闘力を組織化するために必要な事項及び隊員の基本的行動」について、本部管理中隊補給小隊(小隊長・仲野優准尉)に対して、「連隊の

任務達成のため、戦闘力を維持する兵站活動に必要な事項」を評価するとともに、その進歩向上を促すことを目的に実施した。

本訓練検閲に先立ち統制官の中津1佐は、「各級指揮官は、手段を駆使して状況を把握し、適時に判断せよ」、「戦闘力を組織化せよ」、「各管理に万全を期せよ」、「各点を要望するとともに、各受閲部隊が1件の事故もなく、部隊一丸となって任務を完遂することを期待し、訓示とした。

翌朝、火力支援中隊は、前進偵測班、火力誘導班及び測量班を先行させ、敵の重要目標及び第一線の目標情報を収集して火力戦闘に資するとともに、火炮の広域分散及び頻繁な小移動の併用により敵火からの損害を局限し、戦闘の終始を通じて

た火力戦闘の継続により、先達された我第一線中隊の部隊に火力協力し、敵を打撃、滅殺して、攻撃に寄与した。

補給小隊は状況開始以降、補給品等をあらゆる敵の攻撃から防護し、補給活動を継続するため、小隊長の「分散と偽装の徹底」という指針に基づき、糧食、燃料、薬等補給品を分散させ、96式装甲車を活用した巡視による補給品防護、第一線中隊及び火力支援中隊が必要な糧食、燃料、弾薬の現況把握及び旅団段列からの受領、中隊への交付を確実に、これまでの練成成果を遺憾なく発揮した。



▲迅速な射撃

機材の能力を最大限に引き出せ! 資材運搬車及び揚重機操作教育 第6即応機動連隊

第6即応機動連隊本部
管理中隊施設小隊(小隊長・三嶋捺矢2尉)は11月25日から12月5日までの間、美幌駐屯地内

において資材運搬車及び揚重機操作教育を実施した。
本訓練は、操縦手要員に対し教育を実施して、装備品を安全かつ効果的に運用するため必要な知識・技能を習得させることを目的として実施した。
訓練内容は座学と実技訓練の構成であり、前段の座学では関係法令、車両や揚重機の構造・機能、点検要領、力学的基礎知識等、運用に不可欠な内容について理解を深めた。

後段の実技訓練では、資材運搬車による基本走行から応用走行、荷の運搬を通じて安全確実な操作手順を体得した。
また、揚重機運転においては操作要領、重量目測、玉掛け、合図等の現場で求められる総合的な技能を演練した。
特に、資材運搬車による応用走行では、通常の車両では進入困難な急斜面や不整地を走行するため適切な経路判断と正確な操作が必要となつたため、参加した隊員は慎重に確認しながら取り組んだ。

機動連隊は、今後も各種装備品の性能を最大限に引き出し、任務を安全に遂行できる隊員の育成に努めていく。



▲急斜面を通過

フラット化射場で初の実施! PJ分隊戦闘射撃訓練

第6即応機動連隊本部管理中隊

管理中隊(中隊長・関勝伸1尉)は12月9日、美幌射撃場において連隊戦技PJ分隊戦闘射撃訓練を実施した。

本訓練は、各中隊を横断する陸曹主体で編成された戦闘戦技PJ(プロジェクト)により、射撃時における戦闘行動の一連動作を演練して射撃技術、分隊以下の指揮動作及び夜間戦闘能力の向上を図り、連隊の分隊戦闘射撃能力向上のための基礎を確立することを目的として実施した。

組長の適切な指揮動作、「夜間照準及びIRライントを使用した夜間射撃技術の向上」とした今回の射撃訓練は、昨年度フラット化工事を完了した美幌射撃場における初の分隊戦闘射撃となった。

主務者である本部管理中隊の関沼大助3曹は射手を集めて、「貴重な機動的な火力掩護下における機動」、「分隊長及び各

退するもので、お互いの意思疎通と連携を密にしなければならない難度の高いものであるが、入念な事前の準備と練成により、安全に実施することができた。
第6即応機動連隊は今回の訓練成果を資として更に訓練を重ねていく。

本訓練は、各普通科中隊から選抜された小隊長、分隊長等の車長・操縦手と意思疎通

主要演練項目を「継続的な火力掩護下における機動」、「分隊長及び各



▲陣陣を組んで士気を高める



▲躍進を掩護する機関銃組



▲操縦手と意思疎通

普戦連携の基礎を確立! 令和7年度第2回 機動戦闘集合訓練 第6即応機動連隊機動戦闘車中隊

第6即応機動連隊機動戦闘車中隊(中隊長・上田尚希1尉)は12月3日〜11日までの間、美幌駐屯地及び美幌訓練場において令和7年度第2回機動戦闘集合訓練を実施した。

縦手要員に対し、乗車戦闘に係る車長の指揮要領、乗員としての基礎的動作、さらに単車・小隊としての基本的行動について演練し、識能の向上を図ることを目的としている。
訓練の概要は、前段で砂盤による単車訓練、誘導、戦闘操縦、行進及び宿営を実施し、基本的事項の徹底を図り、後段では実員・実車による単車訓練及び小隊訓練を実施した。
参加した普通科中隊の隊員は、機甲科特有の動きや考え方に対して、積極的に質問を重ねて、理解を深める姿勢を見せて、実車訓練においても乗員相互の連携を密にし、常に敵を意識した行動で訓練に臨んだ。
第6即応機動連隊は、職種間の壁を取り払った連携の強化のため今後も継続的に訓練を実施していく。

四半世紀にわたる 国防への貢献を表彰 永年勤続表彰式 第6即応機動連隊

第6即応機動連隊(連隊長・中津健士1佐)は12月16日(異動)は11月27日、美幌駐屯地において永年勤続表彰式を実施し、勤続25年を迎えた隊員12名に対し、防衛大臣からの表彰状を代理授与した。

本行事で、連隊長は表彰状を一人ひとりに手渡した後、「みんなの努力もさることながら、家族、同僚等への感謝の気持ちを持ちながら、しっかりと誇りを持って後輩の指導にあたってもらいたい」と祝辞を述べ、式は終了した。

その後、駐屯地司令室において受賞者は連隊長及び中隊長との記念撮影が行われ、本行事の記念とした。



△一人ひとりに表彰状が渡される

駐屯地中が 笑い声にあふれる 駐屯地年忘れ行事 美幌駐屯地

美幌駐屯地(司令・白鷹聖也1佐)は12月20日、同駐屯地において、駐屯地に所在する部隊と家族間のコミュニケーションの拡充に寄与することを目的として年忘れ行事を実施した。

各部隊毎に実施した餅つきでは、多くの隊員家族が参加し、杵を振り下ろす度に隊員の「ヨイショー」という大きな掛け声が隊舎中に響いた。

餅つきと同時に武道場ではアトラクション、厚生センターでは初開催となるちびっこゲーム大会が行われ、多くの子供たちが参加した。

また、体育館では余興としてスーパーマジシャンである美幌町在住のミスターリッキーさんによるマジックショーが行われ、盛り上がり、最後にお待ちかねの駐屯地年忘れ抽選会「駐屯地年忘れ抽選会」が開催された。

当初、子供抽選会を実施し、見事当選したお子さん達は満面の笑みで景品を受け取り、参加賞と葉がかけられた。

その後行われた一般抽選会では、駐屯地全隊員が景品を当てるべく真剣な眼差しで発表を静かに待つ中、当選者が読み上げられる度に「喜一憂する声」が聞かれた。

行事の終わりに司令の挨拶があり、今年頑張った成果を来年につなげて飛躍・発展してもらいたい」と隊員等に対して言葉がかけられた。

本訓練は、大空町役場が主催する防災訓練に参加して大空町の防災能力向上に寄与するとともに、連携強化を図ることを目的とし、火力支援中隊は大空町の依頼により、大空地区河川防災ステーションにおいて炊き出し支援及び個人装具(背のう)の展示を担当した。

令和7年2月に実施された連隊炊事競技会において優勝した火力支援中隊が炊き出し支援をするということで町民の期待が高まる中、炊き出しと言えばカレーというありきたりなイメージに拘らない献立にしたいという中隊長の熱い思いも加わり、訓練に先立つ大空町との事前協議の結果、白飯、豚汁、そして北海道郷土料理のザンギという献立となった。

当日は、参加者が研修する中で炊事を行い、町が準備した50名分の食材を使用して手際良く調理し、試食会が始まると「これが連隊ナンバー1の味なんですわね!」との声が上がると、50名分のザンギが飛ぶように無くなった。

背のうの展示では、隊員が背負っている重量の背のうを用意し、そのあまりの重さに「こんなに重いものを持って活動してるんですわね!」と驚く参加者の声があった。

第6即応機動連隊は地域との連携強化のため今後も継続して訓練に参加する。



△お父さんと餅つき



△豪華景品が当たった!



△ザンギの調理

6即機連炊事No.1中隊が調理した 美味しいザンギを召し上がれ! 大空町防災訓練 第6即応機動連隊火力支援中隊

第6即応機動連隊火力支援中隊(中隊長・林和志1尉)は12月13日、令和7年度大空町防災訓練に参加した。

本訓練は、大空町役場が主催する防災訓練に参加して大空町の防災能力向上に寄与するとともに、連携強化を図ることを目的とし、火力支援中隊は大空町の依頼により、大空地区河川防災ステーションにおいて炊き出し支援及び個人装具(背のう)の展示を担当した。

令和7年2月に実施された連隊炊事競技会において優勝した火力支援中隊が炊き出し支援をするということで町民の期待が高まる中、炊き出しと言えばカレーというありきたりなイメージに拘らない献立にしたいという中隊長の熱い思いも加わり、訓練に先立つ大空町との事前協議の結果、白飯、豚汁、そして北海道郷土料理のザンギという献立となった。

当日は、参加者が研修する中で炊事を行い、町が準備した50名分の食材を使用して手際良く調理し、試食会が始まると「これが連隊ナンバー1の味なんですわね!」との声が上がると、50名分のザンギが飛ぶように無くなった。

背のうの展示では、隊員が背負っている重量の背のうを用意し、そのあまりの重さに「こんなに重いものを持って活動してるんですわね!」と驚く参加者の声があった。

第6即応機動連隊は地域との連携強化のため今後も継続して訓練に参加する。

長年のご愛読ありがとうございます！
 北辰新聞は来月で
 紙での配布は最後になります！

北辰新聞編集局

日頃より北辰新聞をご愛読いただき、誠にありがとうございます。このたび、長年続いてきた紙の北辰新聞は来月をもって終了し、4月からはウェブ版のみの提供となることになりました。

これまで毎月紙面に掲載していたQRコードから、美幌駐屯地のホームページへアクセスすることができます。スマートフォン

「今後も紙で読みたい」「バックナンバーを集めている」という方はウェブ版からご自身のスマートフォンやパソコンにダウンロードし、印刷して保存することができます。

美幌駐屯地
HPはこちら



フレッシュアップ

美幌町役場 建設部
 上下水道課 営業グループ
 さ ほ 佐 保 俊太郎 さん

氏名	佐保 俊太郎	チャームポイント	まじゅ・やまこい
職業	美幌町役場職員	好きな料理	ラーメン
星座・血液型	ふたご座・B型	理想の女性	思いやりのある笑顔が素敵な人
出身地	北見市	自衛隊で見てみたい物	ほろく前進
趣味	歌うたご、野球観戦	何か一言	甲子く頑張りなす!

1月・2月
退官者紹介

 業務隊 2等陸尉 鈴木 純	 6即機2中 1等陸曹 河原 尚	 6即機本管 陸曹長 三浦 勝彦	 6即機2中 陸曹長 梅田 俊彦
---	---	---	---